

令和7年度 学習計画(シラバス)

教科		科目	対象学年 コース	単位数	担当者氏名	教科書 著者 発行所	使用教材・発行所	
地理歴史		地理総合	2年理系	2	飯田 康信	「高等学校 新地理総合」戸井田克己ほか17名（帝国書院） 「新詳 地理探究」矢ヶ崎典隆ほか20名（帝国書院） 「新詳高等地図」(代)佐藤清ほか5名（帝国書院）	「新編 地理資料2025」(とうほう) 「サクシード地理」(啓隆社)	
指導の重点			社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。					
評価の観点			知識・技能	地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。				
			思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。				
			主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚を深めている。				
学習の評価			1. 定期考査、小テストで「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 2. 協同学習等への参加態度、レポート提出等で「主体的に取り組む態度」を評価する。 3. 1の評価に2を加味し、総合的に評価する。					
学期	月	考査	単元	学習内容	学習の目標(ねらい) ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度			
1	4	中間	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム	1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類	①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。			
	5		第2章 結び付きを深める現代世界 第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解	1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界 序説 生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活	①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 ①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 ②世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。			
	6		期末		3節 世界の言語・宗教と人々の生活 4節 歴史的背景と人々の生活 5節 世界の産業と人々の生活			
	7							
2	9	中間	第2章 地球的課題と国際協力	1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題	①世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 ②世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。			
	10			5節 食料問題 6節 都市・居住問題				
	11	期末	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災	1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え	①我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 ①さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 ②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。			
	12		第2章 生活圏の調査と地域の展望	1節 生活圏の調査と地域の展望	①生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 ③生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			
3	1	学年末						
	2							
	3							